

かみっこ

「自ら学ぶ力」を育む学びを

校長 平澤啓介

神岡小学校では、土日の宿題を「自分学習」にしています。担任が与えた漢字や計算、読書などの宿題をこつこつ続けることはとても大切ですが、自分が興味をもっていることや自分の夢や将来につながることに主体的に取り組んでほしいと考え、この「自分学習」を始めました。この取り組みでは、自分で課題を考える力、目的をもって学ぶ力、粘り強くやりぬく力などを育み、やり切った喜びや興味をもって学ぶことの楽しさを味わうことを通じて、「自分で学ぶ力」を育みたいと考えています。

本年度は、昨年までの取り組みを踏まえ、学習する内容を段階的に広げるように改善を図りました。1年生は、担任が決めた国語や算数、運動や手伝いなどの課題を中心に取り組みます。この段階で、いろいろな課題を経験して興味を広げたり、学習方法を学んだりしてほしいと考えています。そして、2年生からは、担任が示した課題例から自分に合う課題を選んで取り組んだり、興味があることや自分に必要だと思う課題を自分で考えて取り組んだりして、少しずつ学習内容を発展させたいと考えています。

夏休み明けの作品展には、「鉄棒の練習記録」や「編み物の作品づくり」、「料理づくり」、「船津盆踊りの練習記録」、「いろいろな職業調べ」、「英語・計算・漢字の練習」など、個性あふれる作品や取組が並んでいました。どの子どもも自分の課題を見つけて、自分なりの方法で取り組んでいました。感想には、「興味がある〇〇について調べました。自分が知らないことを知ることができて楽しかったです。」や「自分が苦手だった学習をもう一度やってみました。やる前と比べて、少し自信が付きました。」などと書いてありました。

まだ始めて数年の取組なので、「自分で学ぶ力」を育むにはもう少し継続が必要ですが、こうして主体的に取り組んだことは、子どもにとって貴重な経験になっています。今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、「自分学習」を進めていきたいと思いをします。

